

愛知県環境情報紙

環境かわら版



<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

平成 29 年 3 月号 (第 250 号)



環境情報が満載 P.2~8



2017 愛知環境賞表彰式知事挨拶



2017 愛知環境賞表彰式



もりの学舎開館 10 周年記念
「もりの学舎まつり」を開催します！



県内 9 地域の協議会会長等が一堂に会し「あいち生態系ネットワークフォーラム」を開催しました



エコアクションを
はじめよう！つづけよう！つなげよう！

<http://aichi-eco.com>





まなびや もりの学舎開館 10 周年記念

「もりの学舎まつり」を開催します！



愛・地球博記念公園(モリコロパーク)にある環境学習施設「もりの学舎」は、平成 19 年 3 月の開館以来多くの皆さんにご利用いただき、今月、10 周年を迎えます。その記念として、もりの学舎開館 10 周年記念「もりの学舎まつり」を名古屋キヨニスクラブ*から創立 50 周年記念事業としての寄附を得て開催します。

当日は、「もりの音楽隊コンサート」や、「キッズインタープリターの自然体感プログラム」、「たまご達のインタープリテーション」、「インタープリターとしぜんあそび」などプログラムが盛りだくさんです。

参加費は無料です。ご家族・ご友人など皆さんお誘いのうえ、是非ご来場ください。

※幼い子供達のための奉仕活動を中心に様々な活動を展開する団体

1 日時

3 月 20 日(月・祝) 11:00~15:30

2 場所

もりの学舎及びその周辺

長久手市茨ヶ廻間乙 1533-1

愛・地球博記念公園(モリコロパーク)内

3 内容

(1) もりの音楽隊コンサート

もりの音楽隊(金管楽器五重奏)が、お子さんも楽しめる曲を演奏します。

(2) キッズインタープリターの自然体感プログラム

「もりの学舎キッズクラブ」の小学校 4 年生から 6 年生のメンバーがキッズインタープリターとなり、自分たちで企画した自然体感プログラムを実施します。

(3) たまご達のインタープリテーション

もりの学舎のインタープリター研修生たちが、研修の中で自らが作成した新しいプログラムを披露します。

(4) インタープリターとしぜんあそび

もりの学舎で新たに作成した 5 種類の幼児向け自然体感プログラムをご用意しています。

※一部のプログラムは事前申込みが必要です。申込みが必要なプログラムや申込方法については、下段の Web ページをご覧ください。

(5) その他

愛知万博公式マスコットキャラクターのモリゾー・キッコロもかけつけてくれます。また、もりの学舎正面玄関前で「菓子まき(くじ付き)」を実施します。



もりの学舎まつりに向けた準備の様子

※雨天の場合はプログラムを一部変更する可能性があります。

4 記念品プレゼント

「3 内容」の(2)(3)(4)いずれかのプログラムに参加した方、先着 200 名に記念品をプレゼントします。

5 問合せ先

もりの学舎 電話 0561-61-2315

各プログラムの内容や定員等の詳細は、Web ページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/>

kankyokatsudo/10anniv.html)

環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)



まなびや
「もりの学舎」春休み特別企画を実施します！



「もりの学舎」では、3月25日(土)から4月9日(日)まで、春休み特別企画を実施します。

期間中は、特別プログラムとして、リサイクル素材などを利用した工作教室「あそび工房」や、葉を紙に写しとる「はっぱの手形」、「紙芝居の読み聞かせ」を(一社)愛知県産業廃棄物協会の協力を得て実施するほか、もりのツアーなどのインタープリターによる通常プログラムもご用意しています。

いずれも参加費は無料で、事前申込みは不要です。
多くの皆さんの参加をお待ちしております。



紙トンボ



森のフォトフレーム



光の小箱



はっぱの手形の様子



紙芝居の読み聞かせの様子

【問合せ先】

もりの学舎 電話 0561-61-2315

いずれももりの学舎1階にて当日受付をします。

なお、プログラムによって実施日や定員、参加条件などが異なりますので、詳細はWebページをご覧ください。

(<http://pref.aichi.jp/soshiki/>

kankyokatsudo/harutoku.html)

春休み特別企画 プログラム一覧

期間中の特別プログラム	
あそび工房 (約30分) ※小学生以上	<p>紙トンボ 牛乳パックでトンボの形をした「やじろべえ」を作る工作教室</p> <p>森のフォトフレーム ダンボールや木の実などでフォトフレームを作る工作教室</p> <p>光の小箱 牛乳パックで光のオブジェを作る工作教室</p>
はっぱの手形 (約15分)	落ち葉を紙に写しとって、葉の形や葉脈の美しさを感じる自然体感プログラム
紙芝居の読み聞かせ (約15分)	生きもの、木の実、リサイクルなどを題材にした紙芝居の読み聞かせ
通常プログラム	
インタープリターと歩くもりのツアー (約50分) ※小学生以上	<p>かめの池コース インタープリターの案内で、かめの池の様々な生きものとふれあいながら楽しく自然を感じるツアー</p> <p>もりコース インタープリターの案内で、身近な自然の中で自然と人とのふれあいを楽しめるツアー</p>
ひろば de しぜんあそび (約15分)	もりの学舎前の広場で、インタープリターと一緒に気軽に自然を楽しむ短時間のプログラム
まなびや探偵団 (セルフプログラム) (約10分)	館内で「たんでいシート」を入手し、3つのスタンプを集めて、館内に隠れている生きもののナゾを解くイベント

環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)

あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業の 実施団体を募集します

愛知県では、平成 21 年度から導入された「あいち森と緑づくり税」を活用し、NPO・ボランティア団体や市町村などが行う自発的な環境保全活動や環境学習に対し、「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付金」による支援を行っています。

現在、平成 29 年度に実施する企画提案事業を募集しています。交付金により、里山での植樹や間伐など森・緑の育成活動、森林と河川・里海との水循環について学ぶ環境学習、緑のカーテンを通じた学習などを進めます。

(1) 対象とする団体

NPO 法人、ボランティア団体、農協、漁協、森林組合、自治会、私立学校、市町村等（愛知県内に活動の拠点を置く、5 人以上の団体）

(2) 募集期間

2 月 17 日(金)～3 月 16 日(木) (必着)

(3) 提出書類及び部数

「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業実施計画書」3 部。様式等の詳細は Web ページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/>

[kankyokatsudo/0000023749.html](http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/0000023749.html))

(4) 提出場所

主な事業実施場所を所管する東三河総局又は県民事務所等（名古屋市内の取組は環境活動推進課）。

(なお、本事業は平成 29 年度予算成立を前提としています。)



環境学習（野外学習会）

環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ
電話 052-954-6240 (ダイヤルイン)



あえる

AEL ネット環境学習スタンプラリーを開催しました



県民の皆さんに楽しく環境について学んでいただくため、愛知県環境学習施設等連絡協議会(愛称:AEL ネット)に加盟する民間や市町村の環境学習施設等と連携して、平成 28 年 6 月 22 日から平成 29 年 2 月 28 日まで「AEL ネット環境学習スタンプラリー」を開催しました。このスタンプラリーは、環境学習施設等への来館、環境をテーマとした講座・イベントへの参加により、スタンプを 3 個以上集めて応募された方に、抽選で最大 5,000 円分の図書カードなどの記念品をプレゼントするものです。



西尾いきものふれあいの里※
「親子観察会～親子で里山を探検～」



(一社)愛知県産業廃棄物協会※
「お帰りの野菜の収穫体験」

※いずれも AEL ネット加盟施設

約 8 か月の開催期間中、6 万人を超える方が参加され、記念品の抽選には 4,000 通を超える応募がありました。(当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。)参加者からは、「いろいろな施設へ行って、楽しく環境について学ぶことができた。」などの意見が寄せられています。

また、「あいちエコアクション広報部」の地元アイドルグループ OS☆U のメンバーが、愛知万博公式マスコットキャラクターのモリゾー・キッコロとともに、毎月一回、スタンプラリーの対象イベント等に参加してくれました。当日の様子を、あいちエコアクションポータルサイト「エコリンクあいち」(<http://aichi-eco.com>)に掲載していますので、是非ご覧ください。

来年度も 6 月下旬からスタンプラリーを実施する予定ですので、多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

環境活動推進課 環境学習グループ
あいち環境学習プラザ
電話 052-972-9012 (ダイヤルイン)





「2017 愛知環境賞」の表彰式を行いました

愛知県では、資源循環や環境負荷の低減を目的とした優れた<技術・事業> <活動・教育>を実践する企業、団体等を表彰する「愛知環境賞」を平成17年3月に創設し、昨年までに151件を表彰してきました。

13回目となる今回は、43件の応募があり、例年以上にレベルの高い事例の中から、先駆性・獨創性、資源循環や環境負荷低減への波及効果、社会全体に対する啓発効果などを総合的に選考委員会で審査し、15件の受賞者を決定しました。

2月16日に、ローズコートホテル(名古屋市中区)で行った表彰式では、主催者の大村知事と水野明久環境パートナーシップ・CLUB会長(中部電力(株)会長)から、各受賞者に表彰状とトロフィーが授与されました。



「金賞」の日本特殊陶業(株)



「銀賞」の(株)紅久商店



「銀賞」の矢作川森の健康診断実行委員会



「銅賞」の愛知工業大学



「銅賞」の(株)三五

詳細は愛知環境賞のWebページをご覧ください。

アドレス：<http://aichikankyoushou.jp/>

2017 愛知環境賞 受賞者一覧

賞の種類	受賞者	事例の名称
金賞	日本特殊陶業(株) (名古屋市)	セラミックセンサ技術の開発と革新による、世界の自動車の大幅なCO ₂ 削減
銀賞	(株)紅久商店 (豊橋市)	小型家電および金属リサイクル事業における金属とプラスチックの分離をほぼ完全に行う業界初の乾式ライン
銀賞	矢作川森の健康診断 実行委員会 (名古屋市)	森の健康診断～市民と研究者と森林ボランティア協働の森林調査と環境教育活動～
銅賞	愛知工業大学 (豊田市)	再生可能エネルギーによる発電システムの利活用を考慮したグリーングリッドシステムの構築
銅賞	(株)三五 (みよし市)	【世界シェア 94%】排気未利用熱の再利用技術 排熱回収器による自動車燃費向上
中日新聞社賞	愛知県立南陽高等学校 (名古屋市)	生徒主体によるカーボン・オフセットを活用した地域や生徒の環境意識改善の取組
名古屋市長賞	ダイセキグループ (名古屋市)	変化する社会のニーズに合わせ、幅広い資源リサイクル事業の全国展開によって、循環型社会の構築を牽引
優秀賞	河田フェザー(株) (名古屋市) エコランド(有) (伊勢市)	天然資源である羽毛を使った製品を回収し、独自の技術で洗浄。保温性などの機能が回復したりリサイクル羽毛を循環させるビジネスモデルの確立
優秀賞	シンニチ工業(株) (豊川市)	加工性の良い大径薄肉鋼管で自動車部品等の製造工程を短縮化・軽量化、最終ユーザーの低燃費・省エネに貢献
優秀賞	名古屋市立名古屋商業高等学校 (名古屋市)	葦から“Zoo”～葦を原料とした商品開発、エコ・ツーリズムと環境保全の啓発活動～
優秀賞	プールス(株) (豊橋市)	環境にやさしく衛生的な自動おしぼり製造機の製造販売事業
優秀賞	穂の国の森から始まる家づくりの会 (豊川市)	近くの山の木(間伐杉材)を使った「教室の空気はビタミン材運動」を中心とする環境体験教育活動
優秀賞	増岡窯業原料(株) (瀬戸市)	未利用資源キラを有効活用した日本初の保水性ブロックの開発とヒートアイランド現象の緩和
優秀賞	ヤマダインフラテクノス(株) (東海市)	循環式エコクリーンプラスト工法(乾式プラスト工法において産業廃棄物を1/50に削減し低コスト化を実現する日本初の環境負荷低減工法)
優秀賞	(株)ランド (一宮市)	廃棄物リサイクル原料を組み合わせた簡易施工型雑草防止土系舗装材「頑太郎」の製造販売

資源循環推進課 循環グループ
電話 052-954-6233 (ダイヤルイン)



～「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」支援会議を開催しました～

愛知県では、大学生を対象にした「人づくり」プログラム「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」を平成27年度から実施しています。

この研究所について、これまでの2年間の活動を振り返るとともに、来年度の研究所プログラムや、研究所を核として地域全体で「人づくり」を推進する方策について議論するために、1月31日に愛知県庁で支援会議を開催しました。会議には、パートナー企業や第1期生、第2期生の研究員、ファシリテーター、研究所顧



支援会議の様子

問の飯尾 歩いいおあゆみ 中日新聞社論説委員を始めとする有識者の方々など、約50名が参加されました。

パートナー企業からは、研究員の提案を踏まえた環境取組の新たな展開などについての発言があり、

若者ならではのアイデアを積極的に取り入れる検討が進められていました。㈱ナゴヤキャッスルでは、研究員からの提案を受けて、3月25日(土)に世界規模で開催される「消灯リレー」キャンペーンであるアースアワーに参加し、ホテルで、使用済みキャンドルを活用したイベントの具体化が進められています。

また、研究員からは、「研究所修了後にNPOのインターンに参加し、積極的に地域の担い手として環境活動に取り組んでいる」、「研究所活動によりパートナー企業とつながることができ、継続して今もパートナー企業と連携した環境活動を実践している」といった発言があり、環境リーダーとして、第一歩を踏み出しています。

〔環境政策課 企画・広報グループ
電話 052-954-6210 (ダイヤルイン)〕

水質事故未然防止対策説明会を開催しました

工場・事業場から河川などの公共用水域に油などが流出するといった水質事故が、近年数多く発生しています。水質事故が発生すると、魚が死んだり、取水に影響を及ぼすなど、大きな被害をもたらすことがあります。

愛知県では、こうした水質事故を未然に防止するため、2月15日に県内の事業者を対象とした「水質事故未然防止対策説明会」を愛知県三の丸庁舎で開催し、約80名の方にご参加いただきました。

説明会では、過去の水質事故は作業時の不注意によるものが多く、事故前後の留意点や事故発生後のリスクを検討していないことで影響を拡大させていることを紹介しました。

未然防止対策のポイントとして、「意識」「作業方法」「設備」「維持管理」といった観点から日常業務

を見直し、リスクなどを踏まえた対策を行うことが有効であることを説明しました。

また今後、参加者が各職場に戻り、積極的に社内のリスク管理体制の見直し等を行っていただくように、チェックリストやケーススタディ等を配布し、自主的な水質事故未然防止の取組を促しました。



説明会の様子



説明に聞き入る参加者

〔水地盤環境課 規制・土壌グループ
電話 052-954-6222 (ダイヤルイン)〕

「あいち生態系ネットワークフォーラム」を開催しました

～生態系ネットワーク協議会の成果とこれから～

「あいち生物多様性戦略2020」に基づき、地域の大学・NPO・企業・行政等が連携して生物の生息生育空間の保全・再生を図る生態系ネットワーク協議会が、昨年11月までに県内9地域※で設立され、県全域がカバーされる体制が整ったことを記念して、1月28日(土)、愛知芸術文化センターで「あいち生態系ネットワークフォーラム」を開催しました。

フォーラムでは、大村知事のあいさつに続き、造園家で中部大学客員教授の浦井史郎^{わくいしろう}さんによる基調講演「持続可能な社会に向けた愛知の役割」、9つの生態系ネットワーク協議会の会長等によるパネルディスカッションが行われ、今後、県全体の生態系ネットワークの形成とさらなる情報発信に各協議会が力を合わせていくことを確認しました。

また、協議会に所属する15団体によるポスターセッションでは活発な意見交換が行われました。

※ 知多半島、東部丘陵、西三河、尾張北部、新城設楽、東三河、渥美半島、西三河南部、尾張西部の9地域



知事挨拶



熱心に聞き入る来場者



ポスターセッション会場



ポスターセッションに参加した佐屋高校の皆さん

〔 自然環境課 国際連携・生態系グループ
電話 052-954-6229 (ダイヤルイン) 〕

愛知県環境調査センター研究発表会を開催しました

愛知県環境調査センターは、県の環境行政を科学的・技術的に支える調査研究機関です。大気や水質等の環境基準の適合状況を把握するための調査を始め、事業場からのばい煙や排出水の測定、さらに廃棄物、騒音、有害な化学物質の測定などを実施しています。また、県の良好な環境を確保するための調査・研究を行っており、その研究成果等を広く発信するため、毎年度、研究発表会を開催しています。

今年度は2月13日に、環境調査センター講堂において開催し、約80名の方にご参加いただきました。

発表内容は、愛知県内のレッドデータブック掲載種の分布状況や東三河地域の酸性雨とPM2.5のイオン成分についてなど7題であり、参加者の皆さんは、研究成果の説明に熱心に耳を傾けていました。

研究発表会の講演要旨は、Web ページに掲載していますので、是非ご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000049940.html>)



研究発表会の様子

〔 環境調査センター 企画情報部
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン) 〕



～ 名古屋市下水道科学館 ～



名古屋市下水道科学館



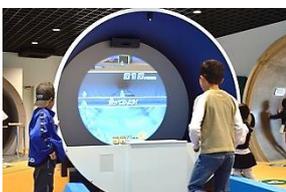
デザインマンホール蓋の展示

名古屋市下水道科学館は、名古屋市北区の名城公園の北側にある、下水道について楽しく学べる施設です。平成元年に市制100周年を記念して開館し、名古屋市下水道が供用開始100周年を迎えた平成24年にリニューアルオープンしました。また、平成28年にエントランスに設けたフォトスポットでは、みっちゃん・すいくんと一緒に記念撮影ができます。



フォトスポット

館内の展示物には自分が水の化身(アバター)になって下水道の中をバーチャル探検する「下水道バーチャルアドベンチャー」など最新のアトラクションがあり、屋外には全国各地のデザインマンホール蓋の展示があります。



下水道バーチャルアドベンチャー

さらに、毎週土日に週末イベントとして、ワークショップを開催しています。ワークショップの内容は下水道科学館のWebサイトに掲載しています。ご予約はお電話または来館にて受け付けていますので、是非お誘いあわせのうえご参加ください。

【イベント情報】

下水道科学館 春のわくわくワークショップ

日時：3月25日(土) 9:30～16:30

けん玉作りや人気のオリジナルマンホール缶バッジの作成の他、エコクッキングも行います。また、館内クイズラリーも開催し、正解すると景品がもらえます。



工作教室の様子

9月の「下水道科学館まつり」に次ぐ大きなイベントとなっていますので、普段とは違う下水道科学館をお楽しみください。



下水道科学館キャラクター
みっちゃん すいくん

<施設情報>

所在地：名古屋市北区名城一丁目3-3
(名城水処理センター1階)

入館料：無料

開館時間：9:30～16:30

休館日：月曜日(月曜が休日の場合は直後の平日)
・年末年始

交通：地下鉄名城線「名城公園」下車1番出口
徒歩5分 ※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

電話・FAX：052-911-2301

Webサイト：<http://waterlab.nagoya/>

環境活動推進課 環境学習グループ
あいち環境学習プラザ
電話 052-972-9011 (ダイヤルイン)

愛知県環境情報紙「環境かわら版」
平成29年3月6日発行(第250号)
編集・発行 愛知県環境調査センター
企画情報部
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6
電話 052-910-5489(ダイヤルイン)

編集後記

3月は、新生活に向けて、いらないものを捨てたり、新しい家具家電や生活用品を買ったりする方も多いと思います。本当にもう使わないのか、周りに必要としている人がいないのか、買おうとしているものは本当に必要なのか、長く使うことができるかを考えてみましょう。節約につながることも多いので、是非3Rやエコの視点を頭の片隅に置きながら、新生活に向けた準備を楽しんでください！
(企画・編集チーム)

※ この環境かわら版は、環境部Webページ「あいちの環境」<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/>でも発信しており、写真等をカラーでご覧いただけます。この記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。